



大崎町立大丸小学校

校長：山口 博 教頭：樋渡 直子



【教育目標】『心豊かでたくましく 創意と気力にあふれた 実践力のある 大丸の子どもを育成』

【校訓】 『かしこく やさしく たくましく』

【キャッチフレーズ】 『海とみどりとあいさつの学校』

【児童数】 68名

1年生 11名・4年生 4名

2年生 11名・5年生 11名

3年生 16名・6年生 15名

平成27年度が始まりました。11名の新1年生が入学し、希望とやる気に目を輝かせた全校児童68名でのスタートです。

大丸小学校では、子どもたちの健やかな成長をめざして、校区にある自然や史跡、そして地域の方々のマンパワーを活用した特色ある教育活動を行っています。

まず、本校の良き伝統となっているのは、海亀の観察・放流です。4年生を中心に、1学期から夏休みにかけて自然を大切にすることや命の不思議さを学びます。そのために、親子で横瀬海岸を清掃し、海亀小屋の砂を入れ替え、監視員さんにご指導いただき、地域の方々の協力を得た総合的な教育活動を行っています。

これから伝統として取り組んでいくのは、平成25年度から始めた棒踊りの伝承です。平成26年度は、5・6年生が総合的な学習の時間に地域の方々にご指導いただき、棒踊りの練習に励みました。その成果を秋季大運動会で児童と地域の方々と一緒に踊って披露しました。「良かった」と大変好評でした。

また、子どもたちの体力向上をめざして、鹿児島県『体力アップチャレンジかごしま』にも取り組んでいます。平成26年度は『馬跳びピョンピョンピョン!』（連続馬跳び）の種目で3つの学年が県で10位以内にランクインしました。今年も挑戦します。

さらに、12月に行う『津波避難訓練』は、大丸消防分団の全面協力をいただいて実施しています。学校から高台の公民館まで1.3キロを13分で避難することができるようになりました。交通安全教室やPTA朝の登校指導など、その他さまざまな取り組みが評価され、『県学校安全表彰』で学校賞をいただきました。

そして、今年度から環境教育の研究に取り組みます。大丸校区に興味関心を持って、自然や人との関わりを深め、自ら問題を解決していこうとする児童を育てるために努めていきます。



「チャレンジかごしま」に挑戦!



海亀の放流
(横瀬海岸にて)



棒踊りの披露
(分館合同
秋季大運動会)



津波避難訓練
(大丸消防分団とともに)